

株式会社日本農業サポート研究所 令和5年度事業実績

| 年     | 月              | 事業内容   |
|-------|----------------|--|
| 2023年 | 4月～<br>2024年3月 | 弊社がコンソメンバーになっている「三重南紀地区カンキツ産地スマート農業実証コンソーシアム」「砂地畑園芸スマート農業実証コンソーシアム」(徳島県)のスマート農業の実証試験が行われ、弊社は作業時間集計・経営分析等を担当した。                     |
|       | 4月～<br>2024年3月 | 代表代表が、ひろしま型スマート農業推進事業アドバイザーとして、ひろしま型スマート農業推進事業のコンソーシアムの取組状況の確認及び助言、コンソーシアムへの助言等の実施状況確認をオンラインおよび現地で行った。                             |
|       | 4月～<br>2024年3月 | 弊社代表が秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター外部評価委員として、スマート農業指導士育成プログラム(カリキュラム)の策定する際に検証及び助言を行った(「外部評価」)。  |
|       | 5月下旬、7月上旬      | 農林水産研修所つくば館が実施した「新任普及指導センター所長研修(リモート)」において、弊社代表が「ICT・AI農機の存在する農業現場」のデータの講師を務めた。  |
|       | 6月下旬           | 三重県農業研究所広報室(松阪市)で、「令和5年度みどりの食料システム戦略推進スタートアップ研修会」が開催され、弊社代表が「スマート農業を活用した環境負荷低減の取り組み」について講演した。                                      |
|       | 7月下旬           | 秋田県立大学「スマート農業指導士育成プログラム」の一環で、アグリイノベーション教育研究センターにおいて、弊社代表が、スマート農業普及論の講義を行った。  |
|       | 8月上旬、10月上旬     | 2022年度課題別研修「稲作技術向上(普及員)(B)」(フランス語圏)、2022年度課題別研修「稲作技術向上(普及員)(A)」(英語圏)で、「農家支援のためのスマート農業」について、弊社代表が講師を務めた。                            |
|       | 8月上旬           | 2023年度JICA課題別研修「農民組織の設立・強化」コースで、「農業普及事業とスマート農業」について、弊社代表が講演した。   |
|       | 8月下旬～9月上旬      | バングラデシュでAPO(アジア生産性機構)とバングラデシュNPO(国立生産性機構)共催で「農業生産性向上のための知識移転に関するトレーニングコース」が実施され、弊社代表が3回にわたり、日本の普及事業とJA活動の概要とスマート農業の現地での活用について講演した。 |
|       | 10月中旬          | 令和5年度改良普及職員九州ブロック研究大会が福岡県福岡市で開催され、弊社代表が「スマート農業の展開とAI時代の普及活動」と題して講演した。  |
|       | 11月中旬          | シンガポールとタイで日本農産物輸出実態調査を行った。   |
| 2024年 | 1月下旬           | JICA「2023年度課題別研修 農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成(A)」で、弊社代表が「日本の普及事業とスマート農業」について講演した。  |
|       | 2月中旬           | 神奈川県立かながわ農業アカデミーで令和5年度教育計画に基づくスマート農業研修が開催され、弊社代表が「スマート農業を経営に活かす」と題して講演した。  |
|       | 2月下旬           | APO(アジア生産性機構)の委託で、ラオスの野菜生産性向上プロジェクトの事前調査を行った。  |